

北区の部屋だより

2010年6月

第11号



刊行物登録番号 22-2-001

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 22 年 6 月発行

北区こぼれ話 第10回

村の全体像を求めて ～北区の村の基本構造～

江戸時代の北区の村を把握する上で、それを難しくさせている要因の一つとして、江戸近郊村々に特徴的な複雑な支配関係が挙げられます。今回は、北区において一つの村の全体像を描く難しさについて、紹介してみたいと思います。

天正18年(1590)、徳川家康が関東に入部すると、早速、家臣団の知行割(所領の配置)に着手し、江戸城のまわりに直轄地を集中させ、その周囲に小～中規模な家臣を、さらにその外縁部に中～大規模な家臣を配置しました。その上で、知行地を有する家臣の権力を分散させるため、また年貢収納を平均化させるため、一つの村を2人以上の旗本や御家人が知行する「相給」という形態がとられました。(一つの村に2人の領主がいる場合を二給、3人いる場合を三給といいます。)江戸近郊に位置する北区の場合、比較的小規模な旗本の知行所が配置され、大半の村は2人以上の領主が支配する「相給」形態となっています。

このような北区の村のうちでも、豊島村の複雑さはその最たるものだったと言えます。豊島村には16人もの旗本が知行所を有しており、加えて異なる三つの代官支配所(直轄地)が置かれていたことから、実に十九給という、「武蔵国」の中で最も錯綜した支配形態となっていました。(『武蔵田園簿』、後に豊島村は直轄地1、旗本15、寺領2の十八給となり幕末に至ります。)

実はこのことが、現在、江戸時代の村の様子を知ることを難しくさせているのです。

そもそも江戸時代の村は、名主・年寄・百姓代といった村役人が中心となって運営されますが、これらの村役人は各知行所ごとに置かれていました。すなわち、豊島村には何人もの名主がいて、それぞれが知行所ごとの帳簿を作成し、独自に村運営を行っていたのです。当然、△△知行所の名主が作成した古文書には、豊島村のうち△△知行所のことしか記されていません。したがって豊島村の全体像を明らかにするには、十数給分全部の歴史的事実を明らかにし、その上でそれらを繋ぎ合わせる必要があるのです。

豊島村は極端な例にしても、北区のような複雑に支配が入り組んだ村の歴史を明らかにする場合にはこうした作業が重要となるのです。



《江戸時代の北区の村》

【地域資料専門員 保垣 孝幸】

(□ で囲んだ村は領主が2人以上いたことがある村)

【区民の会企画展示】
「橋のデザインを味わう」
～北区の新旧名橋を例として～

5月28日（金）～

6月23日（水）

場所：中央図書館1階

「北区の部屋」

6月5日に行われる講演会に先立ち、
区民の会地域資料部が写真や図書を使
って「橋」について理解を深める展
示を行います。

今月の 予定

今月は、北区図書館
活動区民の会・地域
資料部が企画運営す
る、「橋」に関する展
示と講演会が行われ
ます。講演会に関連
する展示をぜひ「北
区の部屋」でご覧下
さい。

【区民の会企画 歴史講演会】
「橋のデザインを味わう」
～北区の新旧名橋を例として～

田端大橋（田端ふれあい橋）と新豊橋の
デザインの特徴から設計者が何を考え、
実現しようとしたのかを読み解きます。

日時：6月5日（土） 午後2時～4時

講師：東京大学工学部教授

中井 祐氏

場所：中央図書館 3階ホール



寄贈本紹介

『かたつむり』（創刊号～198号）

去る4月27日、豊島五丁目団地自治会様から
製本冊子『かたつむり』の寄贈をお受けしました。

『かたつむり』は、1974年（昭和49年）7月に創刊され
た豊島五丁目団地自治会の会報で、自治会の活動はもとより、
団地内で行われているお祭りや学校の様子など、豊島五丁目団
地の暮らしぶりを詳しく知ることが出来ます。

寄贈していただいた2冊の本は、地域資料として1冊を中央
図書館「北区の部屋」で、1冊を地元の豊島図書館で架蔵する
ことになりました。

ありがとうございました。

「北区の部屋」では、北区の歴史に関
する資料を集めています。

お心あたりの方はぜひご一報ください。



北区の部屋だより

2010年7月

第12号

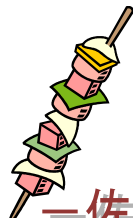


刊行物登録番号 22-2-001

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 22 年 7 月発行

北区こぼれ話

第11回



工場と焼き鳥と特高警察

—佐多稲子が見た戦前の王子・十条—

小説家の佐多稲子というと、田端文士村の一員として名前があげられることが多い人です。しかし、佐多は、戦前の3、4年間、十条にも住んでいました。『私の東京地図』（『佐多稲子全集』第四巻）の中で、当時の思い出を語っています。

佐多は、陸軍造兵廠火工廠（現在の十条駐屯地や中央図書館など）の前の通りにある長屋に夫と住んでいました。十条駅に近い場所です。当時、夫が労働運動に関わり、彼女自身もプロレタリア文学の作家だったので、工場がある十条を選んだのです。彼女によれば、十条駅から火工廠へ続く道は、朝夕、火工廠へ行き帰りする人で賑わったそうです。「この通りは毎日のくらしの用を足す店屋ばかりで、鮭の切り身や、大根の葉っぱや駄菓子屋の紙風船が灯りに映えていた」と書いています。

王子駅前についても「焼鳥屋の屋台が囲んでいる。それらの屋台から流れ出る食べものの匂いや、脂のけむりにけむる往来は、忙しげな不機嫌な足どりや、または何かを求めて心細げな顔つきなどで雑踏している」と記述しています。昭和初期の王子駅前には、焼き鳥のにおいが漂っていたのです。

現在でも、夕方、王子駅前を通ると香ばしい焼き鳥のにおいがします。飲み屋さんからだけでなく、駅の東側のお肉屋さんからも、焼き鳥を焼くモウモウたる煙があがっています。私も、つい、買いたくなってしまうのですが、これから電車にゆられる身としては、我慢せざるを得ません。電車を焼き鳥のにおいで満たしてしまう勇氣はないのです。

勇氣と言えば、佐多稲子は、肝のすわった性格だったらしく、王子警察署との間で起きた面白い話について書き残しています。ある日、王子署の特高刑事が、彼女の家を訪ねてきました。ちょうどその時、二人の運動家が部屋の奥にいました。佐多は、刑事に早く帰ってもらいたくて、求められるままに『無産者新聞』という機関紙を渡したそうです。後で、そのことを夫にとがめられると、彼女は、王子署の特高室に一人で乗り込み、刑事に新聞を返すように迫ったのです。その時の会話が傑作です。

「私はうちへ帰れないんです。さっきの『無産者新聞』を返して下さい。牧瀬（夫）におこられたんです。」

「まさか、離縁だとも言いやしないだろう。」

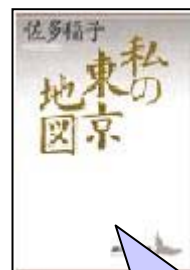
「いいえ、そのくらい、私たちのうちじゃ大ごとなんです。返して下さい。」

つまり、夫婦げんかの原因になったということで、

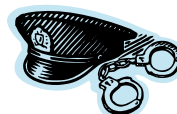
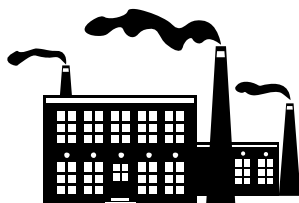
刑事に新聞を返すよう迫ったのでした。刑事は、根負けして

「なんだ。しょうがねえなァ。」といって返してくれたそうです。

佐多稲子の勇氣と天真爛漫さには驚くばかりです。



中央図書館には
文庫版もあります



【地域資料専門員 黒川 徳男】

「北区の部屋」の今月の展示 平成22年6月25日（金）～7月21日（水）

「北区の部屋」収蔵資料展

今月の展示では、普段は「重要文書庫」に保管されている歴史資料（古文書等）を紹介するとともに、現在、「北区の部屋」で作業を進めている歴史資料について、その一端を速報でご紹介します！



このたび、中央図書館では、初めて北区の歴史を学ぶ方々へ向けて『北区の歴史はじめの一步～赤羽東地区編～』を刊行しました。執筆は「北区の部屋」の黒川・保垣両地域資料専門員！図版も豊富で、小学生はもちろん、大人の方でも「見て・読んで」楽しい本に仕上がっています。

区内を7地区に分けて紹介するシリーズの1冊目で、今後順次刊行していく予定です。図書館にも所蔵していますが、1冊300円で頒布しています。ぜひ一度ご覧ください。

**頒布場所：中央図書館レファレンスカウンター、飛鳥山博物館
区政資料室（区役所内）**



夏休み！

小・中学生ワークショップのお知らせ

【小学生向けワークショップ】

こちら赤羽情報部～赤羽PR大作戦～

日時：7月31日（土）午後1時～4時

場所：赤羽会館 第2集会室（3階）

講師：保垣孝幸 地域資料専門員

持っている方は「北区の歴史はじめの一步」持参
（定員20名。申込〆切7/9）

【中学生向けワークショップ】

平和の選択！

中学生国会議員が選ぶ未来

日時：8月7日（土）午後1時30分～4時

場所：中央図書館 ホール（3階）

講師：黒川徳男 地域資料専門員

（定員20名。申込〆切7/22）

申込は往復はがきで！ 詳しくは6/20号の北区ニュースをご覧ください。中央図書館事業係
（TEL03-5993-1125）にお問い合わせください。

北区の部屋だより

2010年8月

第13号



刊行物登録番号 22-2-001

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 22 年 8 月発行



大奥でも大満足？！ 王子の螢の輝き

暑い日が続き、まさに夏本番という感じですが、皆さんは「夏」と聞いて何を想像しますか？「海」「花火」「ビール」「宿題」などなど、皆さんそれぞれ「夏」のイメージをお持ちかもしれませんが、かつては「螢」を思い浮かべる人も多かったのではないのでしょうか。

実は、北区の石神井川周辺は、江戸時代以来、螢の名所として広く知られた場所でした。

ある日のこと、江戸城西丸大奥で磯宮が螢を所望するので、伊奈半左衛門が江戸周辺の村々に命じて上納させたところ、海辺の村に生息していた螢らしく、色合いが悪く磯宮は気に入りませんでした。そこで今度は本所や目黒周辺の螢を差上げたところ、それでも磯宮は満足しなかったといいます。なんでも、宇治で見た螢には似ても似つかないというのが理由だそうです。半左衛門は困ってしまいますが、そこに田安家夫人が、王子の麓、石神井川は螢の名所であり、その螢は宇治の螢とよく似ていると教えてくれたのでした。

早速、王子から螢を取り寄せたところ、本当に宇治の螢に似た輝きをみせ、磯宮は大いに喜んだといいます。

これは、講談師である馬場文耕が著した「宝内密秘登津」（宝暦 6 年<1756>序）に記されている内容で、螢であれば何でもよいと考えていた無粋な伊奈半左衛門と王子の螢が宇治の螢に似た色合いで輝いていることを知っていた田安家夫人とを対照的に描いた内容となっています。このエピソード自体の信憑性は定かではありませんが、こうした書物にも記されるほど、王子周辺が螢の名所であったこと、そして、そのことが江戸市井の人びとにも広く知られていたことは、紛れもない事実だと理解していいでしょう。

今となっては、螢を見る機会はほとんどなくなってしまい、実は私自身も自然の螢を見たことがない都会っ子です。また、石神井川周辺でも多くの螢が見られるような日が来ることを願いつつ。

【地域資料専門員 保垣 孝幸】



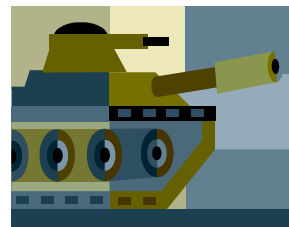
「北区の部屋」の今月の展示

平成22年7月23日（金）～8月25日（水）

「北区の学童疎開パネル展

及び「北区平和祈念週間平和図書コーナー」

昭和19年から20年（1944～1945）にかけて北区の多くの子どもたちは、親元を離れ、群馬県のお寺や温泉旅館に疎開しました。今回の展示では当時の子どもたちや先生の姿を写した貴重な写真をパネル展示で見いただきます。さらに、戦争を知らない大人や子どもたちが、平和について考えるきっかけになることを願い、平和図書コーナーを設けます。



= 今月の行事 =



中学生向けワークショップ

平和の選択！

中学生国会議員が選ぶ未来

日時：8月7日（土）午後1時30分～4時

場所：中央図書館 ホール（3階）

講師：黒川徳男 地域資料専門員

募集は終了しておりますが、若干の余裕がありますので参加ご希望の場合は中央図書館事業係（TEL03-5993-1125）に電話でお問い合わせください。

私たちの

学校の周りを調べよう！

の展示も行っています！

今年中学生職場体験で中央図書館に来館した生徒さんの実習成果作品を展示しています。

ぜひ、こちらも併せてご覧ください。

新着地域資料図書紹介（ここに紹介しているのは一部です）

タイトル	著者	発行	
東京ぶらり暗渠探検		洋泉社	
東京の副知事になってみたら	猪瀬 直樹 著	小学館	
60年代郷愁の東京	本橋 信宏 著	主婦の友社	
アゼリア会北区イザコ座寸劇集	小澤浩子作・構成	アゼリア会北区イザコ座	
東京の鉄道遺産上・下	山田 俊明 著	けやき出版	
技師たちがみた江戸・東京の風景	笠原 知子 著	学芸出版社	
ふるさと北区財政白書 平成22年度	北区政策経営部財政課編	北区政策経営部財政課	閲覧用
北区緑の基本計画 平成22年3月	北区生活環境部環境課編	北区生活環境部環境課	閲覧用



中央図書館
「北区の部屋」では、
北区の歴史に
関わる資料を
探しています！

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか？ 中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。

北区の部屋だより

2010年9月

第14号



刊行物登録番号 22-2-001

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 22 年 9 月発行

北区こぼれ話 第13回

「老農 船津伝次平」ってだれ？

飛鳥山には、様々な石碑がひっそりと建っています。今日の私たちの感覚では、まさに目立たず「ひっそりと」ですが、わざわざ目立たないように石碑を建てる人がいるのでしょうか。石碑を建てた人たちは、目立つ場所を選んだつもりなのです。例えば「^{ふなつでん じ べい}船津伝次平の碑」は「東都の桜の名所」という理由で、飛鳥山に建てられています。これを建てるにあたっては、大日本農会（農協の前身の一つ）や大日本蚕糸会が発行する雑誌を通じて、全国的に寄付金が募集されました。寄付金総額は1948円にのぼったそうです。明治32年（1899）のことですから、かなりの大金です。これだけ大規模な募金によって造られた石碑ですから、目立つところに建てるのが当然です。昔の飛鳥山は、東京を代表する行楽地の一つであり、目立つ場所だったのです。

話しは変わりますが、先ほど名前をあげた船津伝次平を知る北区民は少ないようです。ところが、群馬県では、よく知られています。他県民には信じられないことですが、群馬県民なら誰でも暗記しているという噂の『上毛かるた』というものがあります。そして、その中に「老農 船津伝次平」という一枚があります。ただし、伝次平が何をした人なのか、知っている県民は多くないようです。伝次平を表す「老農」という言葉ですか、農家のおじいさんという意味ではありません。そんな人なら日本中に大勢いるでしょう。そうではなく、老農とは、農業のことをとてもよく知っている民間の指導者のことです。

明治時代の初め頃、政府は、^{こまばのうがっこう}駒場農学校（現、東京大学農学部）をつくりました。そこでは、いわゆる、お雇い外国人による教育が行われていたため、卒業生たちは日本の農業のことを知らず、世間の信用を得られなかったそうです。政府は、民間に伝わる日本の農学を学生に教えるため、地方から「老農」と呼ばれる人々を集めました。その中の一人で、最も優れていると言われていたのが、群馬県の船津伝次平でした。伝次平は、大久保利通に見いだされ、内務省勤務を経て駒場農学校の教師になりました。彼は、農学校で、米や桑の作り方や蚕の育て方などを教え大きな成果をあげました。後に、^{のうじしけんじょう}滝野川村大字西ヶ原にあった農事試験場の技師に転じ、巡回講師として全国各地で農民の指導にあたりました。

明治31年（1898）伝次平は、66歳の生涯を閉じました。これを惜しんだ教え子らは、農事試験場に近い「東都の桜の名所」たる飛鳥山に石碑を建てました。

石碑の正面は、北を向いています。郷里の群馬県がある方角です。 【地域資料専門員 黒川 徳男】



中央図書館では夏休みに小学生向け・中学生向けのワークショップを開催しました。
その様子を2回にわたりご紹介します。

小学生向けワークショップ

こちら赤羽情報部ー赤羽PR大作戦ー

平成22年7月31日(土) 赤羽会館にて開催

赤羽を紹介した1本の映像。

これにナレーションをつけて完成
させ「赤羽」の魅力を再発見しよ
うという企画。はたして小学生の
みんなはどう赤羽を語るのか?!

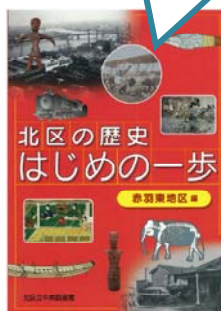


始める前に皆が「赤羽」
をどのくらい知っている
のか講師の先生から
のクイズに挑戦!



中央図書館発行の
北区の歴史

はじめの一步
ー赤羽東地区編ー
が役に立つぞ!



北区の赤羽界隈の写真を解説する
ナレーションをつけるのですが、
さて、写真の内容は何なのか?
調査開始!

さあ! いよいよナレーションの本番だ!
皆、本物のアナウンサーみたい!
すばらしい赤羽のPRコメント続出!!



参加者の声

「赤羽の魅力を知ることが出来た」「ほかの地域でも
やってみたい」「もっと長い文章をやりたい」など、楽しみながら赤羽
を学んでいただけたようです!

【今月の展示】

北区の部屋版夏休み自由研究 北区の昆虫

会期 8/27(金)~9/22(水)

私たちが住む北区には、多くの昆虫たちも住んでいます。かつては夏休みの自由
研究の定番であった「昆虫採集」も現在はあまり人気がないと聞きます。
そこで、今回は皆さんに代わって「北区の部屋」で北区の昆虫について紹介します。



北区の部屋だより

2010年10月

第15号



刊行物登録番号 22-2-001

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 22 年 10 月発行

北区こぼれ話 第 14 回

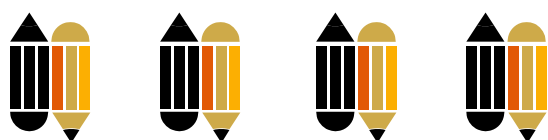
江戸時代、北区の村の世帯構成

今年は 10 年に 1 度（簡易調査を含めると 5 年に 1 度）の国勢調査の年です。国の最も重要かつ基本的な統計として、人口や世帯構成などに関し調査が行われていますが、皆様は調査票の提出はお済みでしょうか？

さて時を遡って江戸時代、こうした世帯構成や配偶の関係など、当時の様子はどうだったのでしょうか。これは、毎年全国の村や町で作成されていた「しゅうもん にんべつちよう宗門人別帳」を見ることで知ることができます。「宗門人別帳」とは、寺請制度に基づき、各人の檀那寺が檀家であることを保証するために作成された帳簿ですが、実際には住民台帳、租税台帳といった側面が強く、これを調査することで当時の各種データを把握することができます。当然、史料の残存状況といった制約はありますが、ある程度の傾向はつかめます。

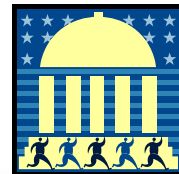
例えば、嘉永 3 年（1850）段階の袋村（現・赤羽北及び桐ヶ丘の一带）の様子を「宗門人別帳」から見てみましょう。当時の家数は 44 軒で、一家族の平均人数は 5.9 人。一組の夫婦と未婚の子女からなる家族形態（いわゆる核家族）は 16 軒（36.4%）で、一組の夫婦に一組の息子（娘）夫婦およびその子女からなる家族形態（三世帯同居）は 22 軒（50.0%）となっています。夫婦をみると判明する 31 組中、同年齢であるのはわずか 1 組で、それ以外は全て夫が妻より年上となっています。年齢差は 4 歳以下が 10 組、5 歳～9 歳差が 10 組、10 歳以上年の離れた夫婦も 10 組で、中には 27 歳差の次郎兵衛のような夫婦もいます。夫婦年齢と最年長子女の年齢を計算すると、夫で平均 27.1 歳、妻で同 21.9 歳となり、この年齢までに第一子が産まれていることも判ります。村の最年長は佐五右衛門の 85 歳で、60 歳以上の人数は 19 名（60 歳代 8 名、70 歳代 10 名、80 歳代 1 名）。袋村は、奉公人も含めると全 270 人なので、60 歳以上の人の占める割合は 7%ほどとなるでしょうか。ちなみに、現在の北区では 60 歳以上の方が 32%となっています。

残念ながら 1 年分しか確認できないのでデータに限界はありますが、もしこれが数年分残っていたら、例えば平均寿命や結婚年齢なども計算することができます。どうですか。これが 160 年前の北区の様子です。今と比べてみるのも結構面白いと思いませんか?!



【北区の部屋・地域資料専門員 保垣 孝幸】

中央図書館では夏休みに小学生向け・中学生向けのワークショップを開催しました。
今回は中学生向けワークショップの様子をご紹介します。



平和の選択！ 中学生国会議員が 選ぶ未来

8月7日土曜日の午後1時30分から
中央図書館にて開催されました。

中央図書館に中学生2名
小学6年生3人が集合！
図書館区民の会のメンバー
も加わってよいよ北区国の
運命を決める国会がはじ
まります！！



今年は日照り続きで水が足りない！北区国は水確保のため水門を開めることにした。ところが隣の南区国が水不足解消のため水門を開けることを要求！開放しなければ戦争になりかねない事態！北区国ではすぐさま国会が召集された！

北区国のA党とB党の議員
たちそれぞれの意見を
相談してまとめます

A党B党でまとめた意
見を代表が発表！は
たしてどちらの党の
意見が説得力がある
のでしょうか？

多数決で決議し
ます！自分の意
見が北区国の未
来を決める！？

皆本物の議員さん
顔負けの素晴らしい
意見発表！
本当に北区国の国
民を思っでの発言
で、感心しました。

国民にPRのための
ポスターも作製しま
した。その場でスロ
ーガンも考えまし
た。

国連の仲介により、北
区国と南区国は、友好
国となって国会を終
えました。

講師の黒川先生から、
昔本当にあった、水不
足の時の歴史のお話
があり、実際はどう対
処したか、学びまし
た。

【今月の展示】

田端・昭和町周辺 鉄道ばなしあれこれ

会期9/25(土)～10/27(水)

東京の北の入り口である北区は、鉄道の街でもあります。そして、
田端や昭和町の周辺に、いわゆる田端操車場や尾久操車場があり、
そのあたりには、いろいろな珍しい話があります。鉄道好きには常識
でも、一般的には知られていない、そんなお話しをご紹介します。

